



# 長高同窓會報

第15号 畏友・悪友  
小特集 P10~P13

長生高校同窓会会報編集委員会  
〒297-0029 茂原市高師286  
TEL 0475-22-3378  
FAX 0475-22-3370



# 意義ある創立百二十周年記念事業成功を目指して

同窓会長 安藤 轟 勇 (昭31卒)



二〇〇八年、長生高校同窓生の皆様には、益々ご清祥で、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

私も、同窓会長を仰せつかって、早三年目を迎えました。

この間、未熟者の私が伝統校の同窓会長の重責を務めて来ることの出来ましたのも、支えていただいた多くの皆様のご指導とご協力の賜と、心から感謝申し上げます。

本年も、県内外各地の同窓会支部、梨葉会の総会や懇親会に出席させていただき、それぞれの地域、職域で、活躍されて居られる皆様と、交流を深めさせていただきました。

良い程、懐かしい校歌が斉唱され、その快い旋律と、歌う皆様の輝いた表情に接し、あらためて、母校の誇りと、同窓会の深い絆と、連帯感を認識し、この上ない喜びと心強さを覚えた次第であります。

本年、我が国を取り巻く社会状況は、近年の中で極めて厳しい様相を呈して居ります。

まず経済の面では、世界の経済が原油価格の高騰に加え、米国のサブプライムローン(信用力の低い人向けの住宅ローン)問題に端を発した、世界的な金融不安による為替相場のドル安円高の進行、これに伴う株式相場の下落と、いわゆる負の連鎖で、日本経済に於ても、景気の減速が深刻な問題となつて居ります。

政治面では、国会に於ける衆参両院のねじれ現象により、法案の審議や重要案件の議決に支障をきたすなど、混乱の状態が求められて居ります。

社会面では、治安の面で、ここ数年、犯罪発生件数は減少しているものの、本年は銃や刃物を使用した殺傷事件が続発するなど、地域住民が体感する治安は依然厳しいものがあります。

一方、食品偽装事件や、本県で発生した中国製ギョーザの殺虫剤成分混入事件など、食の安全に関して、今更ながら考えさせられる事柄が目立ちました。

教育の面では、ゆとり教育を掲げた現行の学習指導要領から「脱ゆとり」を先取りし、学力のレベルを引き上げる動きが出て来たと言われて居ります。

野球、水泳、マラソンを始め、日本選手の北京での大活躍が期待されます。

母校が一層発展されることを期待して、創立百二十周年記念事業を計画致しました。

母校では、伝統の、文武両道、大器晩成の校風を受け継ぎ、「英知、高潔、気迫」の校訓を掲げ、校長先生始め、諸先生のご指導のもと、生徒諸君も非常な頑張りを見せ、本年、進学の内では、国立大学九十五名、千葉大学三十八名、早稲田大学三十八名、慶応義塾大学十三名を始め、全国の有名国公・私立大学に多数の合格者を出し、進学指導重点校にふさわしい成果を挙げて居ります。

部活動の面では、運動部で、陸上競技、野球、テニスを始め、それぞれ精一杯の活躍を見せ、文化部に於ても、各種大会やコンテストで素晴らしい成績を挙げるなど、皆様のご期待に応える活動をして居ります。

私達は、母校創立百二十周年にあたり、諸先輩の築かれた偉業と、輝かしい歴史と伝統を誇りに、本年を契機として、

母校が一層発展されることを期待して、創立百二十周年記念事業を計画致しました。

記念事業実行委員会は、同窓会役員、長月会、長志会役員、そして学校側とで組織され、本年三月まで、計五回の委員会を開催し、綿密な準備を進めて参りました。

事業の内容は、本年十一月に挙行する記念式典を始め、生徒の心に残る記念講演、記念祝賀会等の諸行事、記念誌の発行、記念施設整備等であります。

とりわけ記念施設整備につきましては、創立百二十周年記念事業の大きな柱の一つとして、実のあるものにし、存じ、種々検討の結果、生徒が学校で勉学や部活動に励む環境を、この機会に少しでも充実させ、より良い成果を挙げてもらうと期待をこめて、体育器具の購入、教室の空調設備の整備等に、重点的に予算を計上させていただきました。

そして、これ等事業費

金調達の為、本年二月、同窓会の皆様へ、記念事業募金趣意書をお送りし、広くご支援、ご協力をお願い申し上げた次第でございます。

私達は、意義ある本校創立百二十周年記念事業の成功を目指して、今後共、懸命に努力致す所存であります。

同窓生の皆様には、経済環境厳しき折、誠に恐縮ではございますが、何卒、趣旨をご理解いただき、一層のご指導、ご支援を賜ります様、衷心よりお願い申し上げます。

本年、母校長生高等学校並びに同窓会の一層の発展と、同窓生の皆様のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げます。

金調達の為、本年二月、同窓会の皆様へ、記念事業募金趣意書をお送りし、広くご支援、ご協力をお願い申し上げます。

私達は、意義ある本校創立百二十周年記念事業の成功を目指して、今後共、懸命に努力致す所存であります。

同窓生の皆様には、経済環境厳しき折、誠に恐縮ではございますが、何卒、趣旨をご理解いただき、一層のご指導、ご支援を賜ります様、衷心よりお願い申し上げます。



# 「学問」に目覚めた頃

校長 時田正樹(昭45卒)



昭和四十五年卒の時田でございませう。このたび遠藤校長の後任として母校で勤務することとなりました。今年百二十周年の記念事業を控え、同窓生の皆様方により一層のご助力をお願いしなければなりません。なにとぞよろしくお願いいたします。

さて、三十八年ぶりに母校に「帰って」みると学校の風景はずいぶん変わっております。当時は木造校舎から現在の校舎に変わる直前で、現在の野球場の辺りには「梨葉館」という二階建ての大きな食堂があり、家から持ってきた弁当を二時間目が終わる頃には食べてしまっていた私たちは、昼休みに梨葉館に行つて普通の二倍近い分量のある一杯三十円の素齋飯を

食べるのが日課でありました。

私は水泳部に入っていました。循環器のポンプが故障していたためプールの水はいつも緑色に濁っていて、生臭い臭いのする水で泳ぐ私達は、沼の蛙のようでありました。

同級生たちは自主・自律の精神そのもので、自主遠足や自主クラス対抗サッカー(サッカー部が練習しない雨の日に限る)など遊びに夢中でした。春の桜の頃に自習時間があると、生徒が先生方と交渉して授業時間を変えてもらい、茂原公園まで花見に出かけました。部活動も盛んで、いつ勉強していたのか分かりません。それでも畏友飯塚一郎君は東大理三に、小高義久君は一橋大に現役で合格しました(私は浪人してしまいました)から勉強はしていたのでしよう。皆よく本を読んでいた

のが印象的でした。神子君はロシア文学に凝っていて、その影響で私もドストエフスキーなどを読むようになりました。尤も私の好みは、重苦しいロシア文学よりも軟派なフランス文学で、スタンダールやモーパッサンの方が性に合っていたように思います。

先生方も個性的な人が多く、中には三××などと生徒の揶揄の対象になる方もいらつしやいました。が、地学の長岡先生や国語の佐々木先生など面白い授業で生徒の蒙を啓いてくれた優れた先生が多かったと思います。社会科の先生方は時代を反映してか左翼的な人が多く、中でも世界史の岡崎先生には唯物史観の手ほどきを受け、それまで過去の事実の羅列と思っていた歴史を発展段階説で説明され、歴史は科学の対象であると教えられたことに大きな影響を受けました。その頃読んだ

E・T・カーの『歴史とは何か』(岩波新書)からも感銘を受け、私は、大学で歴史を学ぼうと思ふようになりました。唯物史観の方は、大学で勉強するにつれて賛同できなくなりしましたが、今でも私の歴史への関心を呼び起こしてくださったことに学恩のようなものを感じています。

古典を読むようになったのも高校時代で、最初に読んだのは杉田玄白の『蘭学事始』であったと思います。唯円の『歎異抄』も高校二年生のころに読み、よく分からないながらも感銘を受けた記憶があるのは、このころ人の死について考えるようになったためでしょう。三年生のころ小林秀雄の『無常といふこと』を読んで、十分に理解できないながらも強く惹かれるものがあり、吉田兼好の『徒然草』を読みました。意味は分かるのですが当時の私にはその深い内容に思い至ることができず、どこがよいのかさっぱり分からなかつた記憶があります。このほかに、芭蕉や西鶴、近松などの江戸時代の文学作品もちらほら読んだと思います。こうした古典を読んでみると古文の授業で感じていた難しさは全く感じませんでした。それよりも、その中に書かれている当時の人々の言葉や思想に触れて自分で考えることの面白さを味わっていたように思います。但し、試験では私の苦手な平安時代の作品が多く、文法も苦手でしたのであまり受験には役に立たなかつたようです。

こうして高校時代を振り返ってみると、よくいろいろな本を読めたものだなと思います。何でも知りたいという欲求に突き動かされて、めつたやたらに無秩序に読んでいたのですが、そこには友人たちの存在がありました。何か新しいことを読むとすぐに友人たちにあれこれその内容を解説していただきました。友人たちもまた同じで、私の読んだことのないいろいろな本

の情報を見せてくれたものです。

このような経験を「学問」と呼ぶのはおこがましいけれど、自分の興味に基づいて原典にあたって自分自身で考えようという点で、高校時代は、まさしく私が学問の楽しさに気づいた時期でした。今でも、懐かしく思い出します。

今の本校生徒の皆さんは、私のころに比べるとあまり本を読まないようですが、それでも朝の読書の時間を通じて、幾分か読書に親しむ姿も見受けられます。また、私のころとは違い、インターネットなどを通じて大量の情報に接することもしているでしょう。それも時代の反映であり、それが、知的好奇心にあふれた友人たちと影響し合いながら過ごしたあの経験を、今の生徒たちももっているのだろうか、ちょっと心配になるのは、私が年をとったせいでしょうか。

# 良き友に恵まれて

月岡 一郎 (昭29卒)



手元に一冊の文集がある。

50年前、私の結婚に際して、厳しい仕事の合間をぬって中学、高校の恩師、友人家族の間を駆け回り、玉文を集めて編集し、結婚式に合わせて印刷し、贈ってくれたものである。我々夫婦にとつての宝物である。

従兄弟でもあり又同級生でもあった佐藤三祿君とともにこの中心的な役割を果たしてくれた人物が「昌ん坊」こと畏友佐々木昌一君である。

同君は逆境にも負けず、厳しい母堂の躰けの下、常に「おおらかに」たくましく毎日を送っていた。彼は長高を卒えると上京し、銀座の文具店に住み込みで働き、夜は早稲田の二部に通って学んでいた。冬は雑巾がけのために出来たヒビのため

めに手を真っ赤に腫らしていた。得意先廻りは専ら自転車を使い、そのせいか今でも愛用車は自転車。自称「ブリヂストンペンツ」である。

私は様々な事情から大進学を断念して上京し、父と共に現在の会社を創業した。昼間は懸命に働き、夜は簿記、経理の専門学校に通い、会社経営の為の知識の習得に努めた。

当時は少しでも負担を軽くするために、学校近くの「外食兼食堂」で夕食を摂る事が常であったが、ここで良く彼と出会った。将来は税理士と目標を定めて懸命に勉強している彼とは波長が合い、しばしば高田の馬場近くの酒場で「もつやき」と安酒で将来を語り合った。「富士山の登山口は吉田口だけではない」が何時もの二人の共通意見だった。

卒業とともに見事税理士の資格を得て税理士事務所を開所した彼の、第一号の顧客になった事は言うまでもない。今でも公私共にお世話になっているが、税務問題で彼の世話になっていく級友も少なくない。

創業した会社も何とか軌道に乗り、新製品の開発のための実験設備が必要になった。埼玉に土地を得て小工場を建設することとなった。一級建築士の資格を取得していた

角田忠之君が構造計算と設計図を作ってくれた。鋼材とその加工は当時江東区に鋼材会社の事務所を構えていた本清秀君が全面的に協力してくれた。些細な事でも約束事を決して違えない同君はその後政界に進出し、今では県会議長を経て、自民党千葉県連幹事長の要職にある。

我々が製造販売している計器と同じ理念で作った圧力計がアメリカに存在する事を知り、何とか提携できないかと考え、

アメリカ大使館にある通商部のライブラリーを訪ねて資料を調べると、まさに我々の製品と同じ性質の計器である事が判った。早速提携を打診したところ、かなり前向きな回答が戻ってきた。

毎朝のNHK英会話教室で学んだ程度の会話も通用するわけがない。幸いにも母校の吹奏楽部以来の友、関建三君が「キヤノンアメリカ」の副社長として、提携先の会社の近く、コストメサに赴任滞任している事が判った。連結すると、快く協力していただけたとの事だった。

渡米しての交渉も順調に進み、翌年春、先方の社長夫婦を日本に迎えて無事調印を済ませた。このとき通訳を御願いしたのが、前述佐々木君の義兄である中村さんである。又中村さんは結婚式の文集の表紙のデザインも引き受けてくださった。

現在では、この圧力計のノックダウン製造を開始し、国内の殆どの原子力発電所において採用されて

いる。その後、関君は「キヤノンタイ」社長として同国との合弁企業の立ち上げに尽力された。父の突然の下血から、末期の胃癌が発見され、吐血による家族の驚愕を和らげるために患部の摘出手術をすることとなった。当時国立千葉病院で消化器外科の名医として高名だった、級友の堀部治男医長に執刀を御願いした。摘出された巨大な癌を目の当たりにして、その凶悪な形状は今でも

険から離れない。ヨードの欠乏から発病するネパールの子供達を、その風土病から救うために立ち上がったのが熱田親喜君である。大学教授としての仕事の傍ら、大阪毎日に「御堂すじものがたり」を連載し、得意の絵筆で多くの絵画を描き、その収益をヨードの購入に当てて、現地に日本のヨードを贈り続けている。頭の下がり思いである。

令嬢加奈さんをバドミントンのオリンピック選手にまで育て上げられたのが米倉久雄君である。近年回顧録「太東岬」を自费出版されたが、この中でそのご苦労や想い出を述べて居られる。

40年以上も前、急に奥歯が痛くなり、初めて歯科医院を訪れたのが、当時渡辺滋君が勤務する駒場の歯科医院であった。丁寧な治療と抜群の技術で、その後何の異常もなく過ぎたが、先年ついに歯の方が磨り減ってしまった。患者さんを見ると各界の著名人が多いが、なるほどとうなずける技術だと感じている。

近年は気の合う仲間8名程と毎年家内同伴で一泊の温泉旅行を楽しんでいるが、前述角田君、十枝壮伍君、久我守平君らにその中心として面倒をみてもらっている。まだまだ書き足りない友人が数多く居る。もう一度同じ人生をやり直すかと聞かれれば答えて躊躇するが、同じ友を選ぶかと聞かれれば即座に答える。「イエス」と。

# 信義と信頼の精神で

内山正七郎(昭40定卒)



中学校卒業と同時に立の技養生として入社した私は、三年目に定時制の二次試験に応募した。全員が合格となり、一年生五七名でのスタートとなった。しかし四年間の日々は一人二人と退学に追い込み、卒業時は二九名と半数になってしまった。体調を崩して止むを得ず退学を余儀なくされた人等、さまざまだが厳しい現実を見た。また職場の仲間達は卒業と同時に新たな職場を求めて再就職して行った。気がついて見ると残ったのは私一人だった。

在学中には二度三度と身の振り方も考えた。が四年間支えてくれた職場の同僚、先輩諸氏の信頼に応える為にもここで頑張ろうと新たな夢を持った。そして一九八〇年に

一つの転機が訪れた。中国でのカラーブラウン管製造プラントの建設に伴い、型治工具製造設備の試運転、操作および技術指導員として、技術員と二人で三ヶ月間の中国出張の機会を得た。当時中国では農業、工業、国防、科学技術を四大革命と称して近代化を推進しており、その一環として行なわれたものであった。当時としては最大級のプラントであったと記憶している。それからは納入する機械に合わせてメーカーを回り試運転、精密検査の方法等を熟知した。

一九八一年三月二〇日。北京空港に着いて先ず眼に飛びこんだのは乾燥した黄土と空気がだった。工場は陝西省咸陽市にあり、西安からバスで四〇分。ポプラ並木を通り抜け黄河の支流の渭水へ来ると、左手に当時としては近代建築の咸陽カラーブラウン管工場があり、右手には九階建ての

宿舎がひときわ高くそびえ建っていた。中国では職場と住宅は一体という考え方から、当時の工場の規模としては最初で最後の建設ではないかとも言われていた。工場および周辺の工事は急ピッチで進んでいた。田園の麦の色がわずかに青く、他は茶一色。まさに土の文化という感じがした。作業はスタートしたものの、職場内は一部据え付けが残っており、梱包材は放置され、機械は砂ぼこりで、先ず職場内の清掃から始めた。

計画書を作成して作業を進めたが、懸念した事は、(一)担当者とは全て通訳を通じての指導となるので意思疎通が十分に出来るのか、(二)予定よりも遅れた事によって屋外に放置された機械の精度は問題ないか、という事だった。

通訳については工場の通訳が不足という事で吉林大学の学生が三ヶ月ずつ教育実習を兼ねて担当してくれた。専門用語に多少の不安はあったものの、筆談を含めほとんど心配はなかった。

試運転、配線、給油等、担当者の作業分担当が複雑で、通電まで二週間も要してしまっただけでなく、とにかく時間をかけても担当者を信頼しながら指導を繰り返して実施した。静的精度は提出した検査票とは数値的にバラツキがあったものの公差的には問題なかった。

動的精度も正面旋盤のボックス内に油漏れが見つかつた以外はほとんど問題なく終った。そのボックス内の油漏れが結果的に担当者との心の絆、信頼を結ぶこととなった。

油漏れはオイルシール部と判断し、早急にパーツ全てを託送依頼した。担当者の日程で修理は帰国間近に組み入れた。油漏れは二ヶ所あり、オイルシール部の破損であった。二日を要して部品を交換。修理を終了したものの組立時にラック部の歯車の位置が僅かにずれ

てしまい、レバーの切換えが出来なくなってしまう。原因は判つていたので、「明日修理したい」と言う。「先生は明後日は帰国なので明日はゆっくり休んで下さい。誤動作の責任は私にある」と言うのだった。

いろいろと話して納得してもらい、明日一緒に修理することで別れた。翌朝出勤すると機械は直つていた。通訳は昨日から知つていたが担当者に固く口止めされたと言う。

担当者二人で夕べの内に修理をしたという事だった。中国でこのような体験をしようとは！胸がジーンと熱くなり、三ヶ月の生活がこの一時に集約されたようだった。

どこでも誠意と信頼を持って対応すれば必ずや応えてくれると言う事をこの時あらためて感じさせられた。

担当者は若い人が多く、小型旋盤、フライス盤は女性が主力だった。彼等は日本文化に非常に関心を持っており、四季の歌、北国の春を口ずさ

み、日本語講座のテキストを片手に勉強をしていた。西安は旧跡が多く華清池、碑林博物館、兵馬俑坑等々、シルクロードの出发点としても有名である。

古代文明発祥の地、中国がどうして後進国に甘んじているのか、その答えは判らなかつたが、一〇年二〇年後の中国に期待して下さい、とは彼等の弁だった。私は咸陽のプラントから三年後、機械

職場を去り、半導体後工程の立ち上げ、労働組合運動、そして食事業を最後に五年前に退職した。

日立という世界の中で素晴らしい人との出会いと共に、皆に支えられて働く事ができた事に感謝している。

あれから二七年。中国は経済的にも飛躍的な成長をしている。当時のプラントに携わった世代の人達が一翼を担って活躍している事を信じ――。

今年二才を迎える愛犬との朝夕の散歩が日課となっている今日この頃である。

# 「パワー・ハラスメント」と「職場のいじめ」

田中 建一 (昭50卒)



はつきりとした目的意識を持って、真剣に勉強に励む生徒が多い長高生のなかにあつて、私は、珍しい部類の生徒であつたのかもしれない。教科書は、教室に置きっぱなしで、予習も復習もろくにしないで、野球に明け暮れるという学習意欲の乏しい生徒でした。一浪して、ようやく入学した大学も、下火になつたといえ学生運動の余波が残つており、入学から卒業試験までの間に、試験らしきものは一度もありませんでした。勿論、ゼミ論とか卒論というものにも無縁であり、一層学問から遠のいた四年間でした。

そんな私を学問の世界に導いたのが、二十余年に從事した交通事故損害賠償の業務の中で生じた

問題意識でした。何を勉強すべきかがやつと分つたのです。退職を機に、

労災補償を探索すること  
を決定し、過労死や精神  
障害の労災認定の研究に  
取り組むことにしまし  
た。初めて会う専門家た  
ちから「熱意だけはあ  
る」とか、「社会派だね」  
といわれ、判例を読む目  
にも一段と力が入り、し  
だいに問題意識の焦点が  
絞られていくように感じ  
られました。とはいえ、  
農業の傍らの研究という  
こともあり、PTSDの  
労災認定についての論考  
をまとめていくだけで、  
五年間を費やしました。

最近、「パワー・ハラ  
スメント」という言葉を  
しばしば聞くようにな  
り、関心を持つようにな  
りました。十年ぶりに改  
訂された「広辞苑」にも  
新しく収録され、「職場  
で上司がその地位や権威  
を利用して部下に行うい  
じめや嫌がらせ」と定義  
づけられています。とこ  
ろが、和製英語の新概念  
であるため、理解の統一  
が図られているとはいえ  
ず、法的な争いも発生し  
ています。そこで、本稿  
において「パワー・ハラ  
スメント」についての私  
見を述べさせていただき  
たいと思います。

「職場のいじめ」は、  
今や世界共通の問題とな  
っています。この社会病  
理現象を文化的背景や学  
問的背景の違いから、ス  
ウェーデンやドイツでは  
「モビング」、フランス  
では、「モラル・ハラス  
メント」、イギリスでは  
「プリング」と呼んでい  
ます。

わが国でも「職場のい  
じめ」自体は古くから存  
在していましたが、日本  
特有の集団主義的な経営  
形態の中では、表面に出  
にくく潜在化する傾向に  
あつたといえます。とこ  
ろが、長引く不況の中で、  
リストラや成果主義賃金  
制の導入により、効率至  
上主義が市場を支配し、

職場が殺伐としたものにな  
つてくると、それは、  
もはや潜在的なものでは  
ありません。このよう  
な状況下で、  
コンサルティング会社代  
表の岡田康子氏が「パワ  
ー・ハラスメント」とい  
う和製造語を提唱し「職  
権などのパワーを背景に  
して、本来の業務の範疇  
を超えて、継続的に人格  
を侮辱する言動を行  
い、就労者の働く環境  
を悪化させる、あるいは  
雇用不安を与えること」と  
定義づけたのです。従  
って、この概念は、「職  
場のいじめ」全体の中か  
ら、上司から部下へのい  
じめを抽出したものであ  
り、部下から上司へのい  
じめや同僚同士のいじめ  
を含まないことになりま  
す。「職場のいじめ」全  
体を論じようとする労働  
法学者が、この概念に消  
極的な理由の一つは、こ  
こにあります。一方、マ  
スコミは、リストラ目的  
の上司による退職の強要  
や指導に名を借りたいじ  
めなどを説明する言葉と  
しては、有益であつたた

め好んで使用するところ  
となりました。  
こうして、「パワー・  
ハラスメント」というカ  
タカナ語の新概念は、多  
くの人々に知られるとこ  
ろとなり、潜在化してい  
た「職場のいじめ」を顕  
在化させていったのです。  
あたかも、カタカナ語に  
秘められた言霊が、悪し  
き病理現象を駆逐するた  
めに、社会問題化させた  
ようでもありました。

この病理現象がもたら  
す弊害の中で、何よりも  
深刻なことは、ハラスメ  
ントによる心理的ストレ  
スが、うつ病やPTSD  
などの精神障害罹患の原  
因となり、自殺者さえ生  
じさせるといふことです。  
医学的知見においても、  
ハラスメントによるスト  
レスは慢性的ストレスで  
あり、急性ストレスより  
も精神的健康にはるかに  
害があるといわれています。  
ところが、「パワー・  
ハラスメント」は、「セ  
クシユアル・ハラスメン  
ト」と違い、法律によつ  
ての定義づけや、禁止の  
規定もなく、放置されて  
いるといつてもよい状態  
です。既に、法的規制に  
取り組んでいるEU諸国  
をお手本として、わが国  
も、早急に効果的な対策  
をとる必要に迫られたと  
いえます。

冒頭述べたように高校  
時代の勉強に対する取り  
組みは、大いに反省しな  
ければならないものでし  
た。これに対して3年間  
の野球への取り組みは、  
かなり積極的なものであ  
つたといえます。自らに課  
題を課し、実践もしまし  
た。しかし、残念ながら、  
高校時代には、結果らし  
きものはまったく出ませ  
ませんでした。その中で学  
んだことは「努力と結果は、  
必ずしも比例せず、反比  
例することさえあるが、  
不断の努力なくして結果  
は出ない」ということで  
ありました。このような  
長生高校野球部時代の経  
験が、今、晩学の徒とし  
て労災補償の研究を継続  
していることの素地になつ  
ていると思つています。

日本労働法学会会員。  
社会保険労務士。

# 高校時代に始まった

湯下好子(昭61卒)



岬多可子という筆名で詩を書き始めて、二十年以上にはなるだろうか。これまでの人生のほぼ半分だということに、我が事ながら驚くような気持ちで湧く。昨年は、三冊目の詩集『桜病院周辺』(書肆山田刊)で、第三十七回高見順賞をいただき、そこからまた多くの出会い(長高の先輩方とも!)にも恵まれて、とても嬉しくありがたいことだった。

なにごとく中途半端で、先の見通しもなくぼんやりと進んできてしまったという悔みがある。高校三年間ともに過ごした級友たちが男女問わず華々しい活躍をしている姿に触れると、自分のことのように誇らしく思うのは事実。だが、それに比して、と、みずからの無力さや不甲斐なきを感じたのも正直なところであつた。自分にできることは何なのか、そんなことをぐずぐずと考えながら、しかし実際にはなにひとつ為し得ることがないという苛立ちや焦りが、特に家庭に入り子どもと向き合うだけの日々になると強まった。

それでも、わたしにできることはこのようなもの(詩)を書くことだけではないか、なにも悩むことはない、そんなふうに開き直るような気持ちになると、ようやく三冊目の詩集を産み出すことができた。前の詩集からは十一年の空白を経ていた。外部の評価など気にかけられることもなく、自分だけが納得できればよい、そんな、多分に私的な一冊ではあつたので、受賞はまことに過分なことだった。

さて、そんなふうには細々と、覚束ないものを書き継いできたのだが、その端緒は高校時代にあつたのだと、あらためて思いを深くする。

書道部では、主に、安田睦夫(建中)先生のもとで学んだ。古典の臨書だけでは物足りなくなると、近代詩文書というものに興味を持ち始めた。基本もあやしいのに、無手勝流にひとのやらないことをやりたがる生意気な一生徒を、先生は内心苦々しく思っておられたのではないだろうか。それでも、こんなものを書いてみたいと言え、いつも適切な助言をくださり、温かく見守ってくださつたことを、なつかしくありがたく思い出す。

とは言え、題材として取り扱った島崎藤村やら萩原朔太郎やらを、当時、本当に理解していたとは言い難い。海外詩の翻訳なども、登下校中の車内で一端の顔をして読んでみるものの、実はどこか寄り添いきれないような気持ちを抱いてもいた。つまりは、感性も知性も未成熟なまま背伸びをし、文学少女のふりをしていただけのこと

で、二十年以上を経て恥じ入るばかりだ。

書道室での活動の一方で、級友たちからも日々大きな刺戟を受けた。読書の質・量ともに充実しているのは言うに及ばず。クラス日誌でさえ、そのひとの書く頁の雑記欄がなんと読ませることか、すでに文体の確立している級友はひとりやふたりではなかつた。日々の授業についていくのに汲々としているわたしにとつて、彼ら彼女らは、本当にまぶしく思われた。

そういう中において、読む・書くということを積み重ね、その過程を何人かとは互いに遣り取りし、それは、未熟なりに様々な考えを深める機会でもあつた。二度とそういう時間と空間を得ることとは無いだろう——わたしはわたしの高校時代を「もつともかがやかしい」という形容とともに思い出す。

高校を卒業してから、そんなひとりの友人の住まいを訪ねたところ、本棚に並ぶ蔵書が自分の本棚のものとずいぶん重なつていて、驚きつつもなにか納得するような、少々微笑がこぼれるような気持ちになつた。共有してきたのだものね、と、後はもう語る必要がない、そういう友人に出会えたのも高校時代だつた。

将来の目標はあるような、ないような、自分の方向性に自信のないままの卒業と進学だつた。それでも、一箇所で足踏みをしているようでも突然なにかが向こうからつま先や指先に触れてくることはあるし、ぼんやりとでもひとつのことを思い続けていると不意にそれがなにかの形となつて現れ出ることもある。

啓示と言つたら大袈裟に過ぎるだろうか。たとえば当時、模擬試験の帰りに寄つた本屋でまたまた手にした詩の雑誌に、その後、投稿するようになつたり。また、進学した大学への通学の途上、

その乗り換えのターミナル駅近くに、敬愛していた詩人の教室があることを知り、その生徒となり、近しく勉強させていただくようになつたり。

詩を必要としているひとは、そう多くはないだろう。だが、それを求めるひとの「求め方」は強いので、偶然とは言い切れない邂逅がしばしば生じるようでもある。それが「詩に呼ばれる」ということなのではないだろうか。

詩人というのは広義な、特別なひとだと、詩を書き始めた頃も今も、同じように思っているから、そういう肩書きは自分の身には余るような気がする。わたしはただ「詩を求める者」として道の端を行くような者でありたいと思う。

受賞の前も後も、実は相も変わらず、日常の些細な違和感など掬い取ってきては、そのために費やすべき一語・一行を探しあぐねる日々。思えば、それも、高校時代に始まつたのだつた。

# さあ、水仙を植えよう。

向後 恵里 (昭62卒)



2000年、米国オレゴンに、水仙の世界大会の展示を見に行く機会を得ました。その縁により、英国王立園芸協会より水仙品種登録員(日本担当)というお役目を頂戴しています。

イギリスは園芸先進国で、水仙でも世界をリードする国です。英国王立園芸協会は、水仙の花の咲き方や特性に関する厳格な基準を設けています。世界中の水仙の品種の情報を収集し、水仙に関するイエローブックに詳細にまとめています。日本で新しい水仙の品種ができたときに、育種家の方よりデータや写真を頂き、特性値を私が英訳し申請し、英国王立園芸協会の本部で新しい品種と認定されると、イエローブックに日本の誰々作

出の水仙の花として紹介され、世界中に認知されます。こうして、今のところおよそ20品種の水仙が、水仙イエローブックに日本人育種家の品種として登録されています。と、書きましたが、実際の日本の水仙の育種状況は世界の水仙先進国に比べて後方に位置します。これはなぜかというと、水仙の育種には時間がかかることが理由としてあげられます。花粉を受粉させ種を取り、またから花が咲くまで5年かかります。その1球の球根から100球まで増殖するのにまた数年かかります。それから大量生産に持つていくので、根気がいられます。そして、日本には日本水仙という野草化した貴重な水仙があります。年末から新春に咲く日本水仙は、芳しい可憐な花として、日本の伝統的な季節感には欠かせないものです。そのため、形や色の美しさを

求める展示会向けの水仙の品種には日本人はあまり関心を持たなかったように推測します。欧米では新しい水仙は1球100ドルで取引されていますから、育種を仕事としても生計がなりたちます。しかし、日本水仙が好まれる日本では、水仙は野に咲く花とみなし、新しい水仙の品種を高級品として扱う習慣がありませんでした。ですから、日本で新しい水仙品種を作っても仕事としてはなりたちにくいという理由で、日本ではほとんど育種は行われていませんでした。

水仙の育種は、旧イギリス連邦の国々でさかんに行われていて、世界の水仙をリードしています。各国に水仙協会があり、毎年春に、育種家や趣味家が自分で育てた水仙の花を持ち寄り、水仙の品評会を行っています。これらの国々は水仙の花を好み、明るい黄色

の花が春になると道端や家庭の花壇で多く見られます。水仙の花もよく売られ、10本100円くらいでカジュアルな花として多量に売られています。北アイルランドでは、品種改良が進んでいますが、毎年発表される新品种は世界の園芸家が注目します。フアッシュン界という「パリコレ」みたいなものかと思えます。ぴしっと花弁の形が整い、非常に均整の取れた、姿勢を正した礼儀正しいタイプのものが多くみられます。オランダの園芸会社が優良品種を選び、大量生産ラインにのせる仕組みができています。アメリカはというと、華やかな八重咲き、大柄大輪、カラフル、ラップの部分がべたつとつぶれて横に広がった変わった咲き方をするものというようないくつかの特徴です。大味な点もあります。花壇に咲かせると華やかになります。アメリカの水仙もオランダを通じて世界中に販売されて

いますので、日本人の手にも入りやすい水仙です。オーストラリアの水仙も評価が高く、タスマニア島には高名な水仙育種家ファミリーが何軒かあり、品質的には世界一とも言われる水仙を創出しています。特徴としては背が高く、大輪で丈夫であること、また、形も整い発色が美しいことです。強風が吹きつけても倒れない頑強な品種が多く、その点とてもよい遺伝子をもっています。

ニュージーランドでは、八重咲き水仙の育種がさかんで、ポリウムのある牡丹咲きのキウイ水仙が生まれています。日本の水仙はというと、形も整った美色品種が登録されています。また、原種コレクションからのバルボコジウムと呼ばれるタイプのミニチュア水仙や秋咲きの水仙など、独自の方向で育種が行われています。日本の水仙の育種は黎明期で、まだまだこれからです。

今年2008年は、北アイルランドとロンドン、オランダで世界水仙大会が催されます。世界の水仙愛好家達が、北アイルランドの育種家の農場を訪ねるためにベルファストに集結します。私も参加予定ですが、水仙を通してお国柄を見出すことはとても楽しく、またどれだけ水仙が進化しているのか、実際に見ることを楽しみにしています。

日本にも日本水仙協会があります。年2回の会報発行と、水仙愛好家達がときおり集まり水仙について語る会がありますので、ご興味のある方はご連絡ください。いつか日本でも水仙の世界大会が開催されるようにと願っています。水仙は春を呼ぶ明るい色の花ですから、まずは長生高校の卒業生のみなさま、この秋、花壇に水仙の球根を植えてくださいね。(ホームセンターで買えますよ。)

日本水仙協会事務局  
jinyata@mint.ocn.ne.jp  
〒960-8071 福島県西白河郡西郷村真船字蒲日向  
108 宮田様方

# Somewhere Around the World

伊藤 常子 (平14卒)



ウエスト七四丁目・ブロードウェイ。四階の空手道場から見下ろす夜のマンハッタンの街角。私はこの光景をよく思い出す。子どもの頃から習ってきた空手を通して世界の人々との出会いが始まった思い出の地である。

私が空手と出会ったのは十五年前。小学校三年生の時に父のすすめで近所の空手道場を見学し、気がついたら入門していた。なんとなく始めた空手であったが、中学校時代は二年・三年と県大会で優勝し、関東大会や全国大会に出場する面白さに味をしめ、空手部のある高校に進学し、空手を続けていくことにした。伝統ある長高空手道部であったが、当時の長高空手部は初心者部員がほとんどで空手界では名

門校といえる学校ではなかった。中学時代、空手に力を入れていた私立高校からの誘いもあったが、自由な校風と文武両道をうたった長生高校へと入学した。練習量は他校と比べても少ないことは分かっていたが、勉強を両立していくことで他校とは一味違った選手になりたかった。私の前には県大会では優勝しても、なかなか予選を抜けることができない厚い全国の壁が立ちわだかまっていた。三年間の間に全国大会でベスト8に入賞することを目標に頑張った。全国大会に出場してくるのはどこでもその種目で著名な私立スポーツ校ばかりである。そういった学校の選手は強くて当たり前。しかしそんな中で、試合入場前のコーンで「長生高校」なんて校名を間違えられてしまうような空手界のマイノリティ校から全国大会の決勝コートに立つ、そんなイメージを描きながら三年間の部活に取り組んだ。その間には練習メニューを自分で組み立て、部活動以外の練習時間も自分で確保しなければならず、管理されないが故の苦労もあったが、そんな環境だったからこそ自身で考え努力することの大切さを学んだ。はたして準決勝以上にすむことのないまま迎えた高校生活最後の宮城国体で、ようやく悲願の七位入賞を果たすことができた。

その時のスポットライトに照らされた決勝コートでの演武は今でも鮮明に覚えている。この試合での成果と、高校最後の試合に向けて初めて真剣になつて努力した日々、そして卒業式でいただいた天夢賞は、今もって私にやればできるんだ」という自信と誇りを与えてくれている。共に練習し応援してくれた空手部のメンバーをはじめ、大会遠征にあたって多大な援

助をいただいたこの同窓会には大変感謝している。

試合での思い出とともに、私は空手を通して多くの出会いを得た。空手を習い始めて、道場で隣の学校の生徒と知り合い、試合に行けば近隣地域の選手と親しくなり、関東・全国大会に出場するようにになると全国の各地に仲間ができた。明治大学に進学し、空手部で過ごした四年間も中身の濃い日々であった。こうして空手をやってきたことで得たたくさんの師や仲間は、私にとっての大きな財産である。そして今、私の空手ネットワークは世界に広がりがつつある。英語が好きだった私は英語圏に行ってみようと、これまで七ヶ月ほどアメリカのニューヨークを訪れ、現地の空手道場のお世話になった。

ニューヨークは人種のもつとよばれるだけあって、稽古にやってくる門下生はアメリカ人をはじめ日本人、イタリア人、ギリシヤ人、ルーマニア人：とにかく多様である。それぞれ異なるバックグラウンドを持った人々とともに空手をやり、彼らが日本の文化である空手を一生懸命学んでいる姿を直に見て感銘を受けた。そして空手を通してもつともつと多くの世界を知りたいという好奇心が心の奥底におきこんでいた。それまではただ単に上手になりたい、試合で勝ちたいという一心で競技として練習してきた空手であったが、それが言葉や文化の壁を越えて異国の地を訪れるきっかけとなった。

私はこの三月まで中学校の教員として働いていたが、空手の指導者として今年の末より中東のイエメンへ派遣されることとなった。定職に就いたものの、やはり空手を通して世界と関わりたいという気持ちを抑えることができず、青年海外協力隊の開発途上国でのボランティア活動に志願し、つい先日イエメンへの派遣が内定した。イエメンはこれまで空手に関して海外からの指導者や援助の受け入れ実績のない国だ。私はファースト・ジャパニーズ(初の日本人)として現地で活動することが出来る。地理的環境も社会情勢も日本とは全く異なるイスラム社会で多くの困難が予想されるが、空手の普及活動を通してこぼや文化、国際関係など私自身も学ばべきことがたくさんある。この人生の方向転換が吉と出るか凶となるかは分からない。行ってみなくては分からないことばかりだ。長生高校は自由な校風の中で私たちを信じ、それぞれが自分の意思で考え決定する場を与えてくれた。そんな三年間のおかげで、興味を持ったことは何でもやってみようという度胸がついてしまった。ニューヨークで感じた外界への関心と長高生としてのアイデンティティを胸に、二十四歳、挑戦は続いていく。



# 畏友・悪友

中村 伸子 (昭29卒)



高校時代、私は茂原町から外に出たことがありませんでした。汽車通学の往復はどんなに楽しいことだろうと、空想してはうらやましく、あこがれを抱いていました。

畏友といえ、新聞部で出会ったT先輩です。T先輩は男女共学の第一期生で、頭脳明晰。実行力がある上に親切な方で、T先輩にあこがれました。新聞部の部室は決してきれいなとはいえないバラックで、男子生徒が背をかがめて出入りしている中で、T先輩はテキパキと動き、記事の書き方や速記法を教えて下さいました。新入部員の仕事は完成した新聞を県下の高校に発送すること、私は宛名書きをしなから多くの高校の存在に驚いている程度でした。

ンピックに出場したヒーローです。この二人の畏友からは、勇氣と誇りを持つ心を与えられました。

T先輩は夏休みには新聞社の見学も企画実行しました。(なぜか現在も変わらない長高の制服のデザインはこの期に決定したものです。)受験にあたって、千葉大学を受験するの、文転したいと相談すると、T先輩は不足の日本史を補充指導して下さいました。毎日早朝六時から、先生顔負けの日本の歴史を語って下さり、そのおかげで合格できたことを今でも感謝しています。とにかくT先輩は「すごい女性」でした。

悪友とは申しませんが、修学旅行でのお騒がせな男子二人のことは忘れることが出来ません。

同級生の畏友といえ、Sさんです。放課後になると女だてらに逆立ちしたり、太くて長い竹竿の根元を握り、男子をじりじり追いつめる姿が目には焼き付いています。体育の授業では二人組の相手をして下さり、楽しませてもらいましたが、いざ競技となると、その身体能力の高さにはとてもついてゆけません。Sさんはヘルシンキオリ

特別列車が切り離されて吉野に向かった時、間違えた二人が列車から飛び降り、鉄橋の手前で無事保護されるといふ事件が起きました。その無茶の罰として、吉野では全員が外出禁止。吉野山に桜が咲いたと聞かされたその時を思い出してしまいます。

千葉大に入学してから、あこがれの汽車友が出来ました。MさんとKさんとは四年間、いや現在でも線路はつながっていて、交流は半世紀に及びます。

- いい美に出会う
- いい言葉との出会い
- いい友と出会う
- これこそ至福の人生

日本画院幹事

千葉女子専門学校講師

千葉聖心高等学校講師

# 梨葉の下で育んだもの

濱野なな子 (昭44卒)



といえば、学校から徒歩数分の家を、NHKの連続ドラマ『おはなはん』の大正琴のテーマソングに送られて出て行っても、HR開始に間に合った。向学心と一緒に電車に乗ってくる友たちとは、朝着席する時点からすでに緊張感が違った。私にとって電車通学していた友——それだけで充分、畏怖すべき友である。

悪友ねえ、いたかな。卒業して40年経っている。錆ついた記憶に油を差して、時計を逆転させた。

悪友で思い出したのは3学年下の弟と、その友人たちだ。当時から校医をしていた父が、抜き打ち検査の日を漏らそうものなら、急に歯磨きに精を出す。裏まで念入りに人によつては耳よりな(歯科なのに)そんな情報が必要とする友人は、私の周辺にはいなかった。

私たちの年代は、団塊の世代の尻尾に位置する。大学受験の年には安田講堂攻防戦があり、東大入試は中止になった。時代背景は政治色が強かった。確か2学年の時である。吉田茂元首相が逝去した。その国葬を巡り、社会科の授業を潰し、討論した。ベ平連のバッジを付けて

文化部も運動部も生き生きと、そして誇らし気に自分たちの活動を書き記している、輝やっていた青春の日々がそこにある。やはり、あの頃いたのは悪友ではなく、いい友だ。時期は失念したが、級友の一人が入院生活を余儀なくされ、クラスの有志で見舞いに行くことになった。まだ房総東線と言っていた列車で、まず大原まで行き、さらに乗り換えた。田園を走る一両編成のローカル線に揺られながら、毎日こうして学校まで通っている友たちのことを改めて思った。まるで房総小旅行のような時間と距離を3年間も続けるのか。自分は

ただ確かなのは、汗と涙の詰った3年を送った者も、充実感希薄で卒業した者も、個人の自主性は尊重され、熟考する空間が与えられていたこと。若芽たちは、梨葉に守られていた。だから後々にゆつくり自然発酵できた。人生の放課後も近くになつてきた今、そのことを有難く思う。

悪友ねえ、いたかな。卒業して40年経っている。錆ついた記憶に油を差して、時計を逆転させた。悪友で思い出したのは3学年下の弟と、その友人たちだ。当時から校医をしていた父が、抜き打ち検査の日を漏らそうものなら、急に歯磨きに精を出す。裏まで念入りに人によつては耳よりな(歯科なのに)そんな情報が必要とする友人は、私の周辺にはいなかった。私たちの年代は、団塊の世代の尻尾に位置する。大学受験の年には安田講堂攻防戦があり、東大入試は中止になった。時代背景は政治色が強かった。確か2学年の時である。吉田茂元首相が逝去した。その国葬を巡り、社会科の授業を潰し、討論した。ベ平連のバッジを付けて

# 悪友と歩く

福崎清美(昭46卒)



数年前のクラス会で久しぶりに高校時代の仲間と再会した。卒業してから何年になるだろうか。話題はつきなかつた。それからというもの、年数回会うようになった。この年になると話の中心はやはり健康のこと。メタボ、不眠、ストレス、食生活のことなどなど。それというのも、再会して分かったことには、まさか自分がという病を私も悪友二人も得てしまいい、それぞれが入院生活を余儀なくされ、大げさだが、それぞれが生還し、そして、健康には何よりも気を遣うようになっていたからだ。病が悪友との絆をさらに強めた。

最近では、休日になると山歩きを楽しんでいる。一人でも歩くが悪友とも歩く。歩くようになってからは、自然の景色に目を見張るようになった。新鮮な空気や風を感じるようにもなった。御宿の海岸や養老溪谷の大福山はよく行くコースで、特に養老溪谷は四季を思う存分満喫できる。初夏の新緑、秋の紅葉が水面に映る光景は格別である。悪友との会話も弾む。地球温暖化、自然破壊等が言われる昨今ではあるが、まだまだ自然は豊かである。

先月、勝浦の私の家から市内の八幡岬公園を周り、官軍塚、市営グラウンドまでのハイキングコースを歩いた。八幡岬公園からは遠く岩和田海岸や鶴原の海中公園がよく見える。しばらくの急坂を登り切った後の眺めはまた格別なものがあり、思い切り深呼吸をし、景色を楽しむ。遠方より遊びに来たという、二歳と四歳のかわいい女の子を連れてた親子との会話にも心が和む。私の娘が同じ年の頃、よくこの公園に連れてきて遊ばせた。その頃を懐かしく思い出す。

先日は茂原から白子に抜け、一宮駅までを悪友と歩いた。次は茂原から昭和の森まで歩こうと計画している。さすがに二万歩以上歩くと疲れてしまうが、長い距離を歩けるのも悪友と一緒だからだ。この縁にいまさらながら感謝する。高校時代にはこの友と、学校の帰りに、再来軒までの短い距離をよく歩いたものだ。今でも、茂原に行った時には再来軒で待ち合わせる。また、この友が勝浦に来てくれた時にはすかいらくで待ち合わせる。そして何ともいえない楽しい時を過ごす。

歩き始めて早三年。今では悪友と歩けることが仕事を励みとなっている。また、道すがらの美しい風景を写メールで娘に送るのも楽しみの一つである。「お父さん、写メールは料金が高いから送らなくていいよ」と言われるが、やめられそうにない。

# 学舎から

北田つねこ(昭49卒)



突然の原稿依頼にとまどいながら、頂いたテーマで当時を振り返ってみますと、私の長高時代は良き師・個性豊かな友に恵まれ、刺激の多い3年間でありました。

1年B組担任村杉先生と、どちらかといえばうるさい生徒が多かった47名のクラスメートとの出会いは、卒業後30年以上たった今でも私に影響を与えています。勉強も、部活もぱつとしない私でも、学校が楽しく、3カ年精勤(実は小学校からの12カ年精勤)を果たしました。

村杉先生には1年から3年まで担任としてお世話になりました。3年の時の進路を決めるにあたり「教育学部」に進むよう勧められましたが、人前で話すことが苦手だったこともあり、歯科衛生士という職を選びました。当初開業医に勤務していましたが、同級生の井上(旧姓大和久)里子さんが茂原市役所で歯科衛生士を募集していることを知らせてくれ、現在当市役所にて、歯科保健業務を担当しています。人前で話をすることは大変苦手だったわけですが、今では歯ブラシ片手に茂原市内を駆け回り、充実した毎日を過ごしています。今の私があるのは里ちゃんのお陰であり、足を向けて寝られないと感謝している次第です。

また、彼女のご主人も、同級生で、プレスリィによく似ていて、歌も得意で、文化祭ではプレスリィの舞台衣装を真似たり上がったことが思い出されます。卒業後私が「ラブミー テンダー」を歌ってとお願いすると「おめえなんかじゃ歌えねえ」にべもなく断られ、里ちゃんと結婚したわけですが、今でも旅行に行ったり食事を共にしたりと、家族ぐるみのお付き合いをしています。

平成6年5月、突然届いた訃報。糸久欽一郎君が突然逝ってしまいました。彼は強烈なキャラの持ち主で、体も大きく、存在感のある人でした。彼の葬儀の時、久々に顔を合わせた同級生達と、こんな形で合うのはつらいということになり、同窓会をやろう!と話が持ち上がり、昨年5月で4回目を迎えました。同窓会は30数年の時をあつという間に埋め、高校生時代にタイムスリップさせてくれます。もちろん村杉先生は毎回出席してくださり、我々を明るく照らして下さいます(笑)。元気に長生きして下さい。次回は2011年の予定です。

高校時代はとても楽しく、学んだことも多く、先生方や友達も今の私にとってかけがえのない財産であり誇りでもあります。

# 今ではママ友!!我が珍友

今井いづみ(昭53卒)

早いもので、高校を卒業して三十年の月日がたちました。今では自分の子供達が高校生となり、その姿にあの頃を重ねあわせて、とてもなつかしく思います。

私の高校時代なんて、おしゃべりが制服を着て歩いているような生徒で、誰とでも仲良くできることが唯一の特技でした。ですから、畏友とか悪友とかそんなふうに呼べる特別な存在の友達は：あえて言うならばいつもセットのように一緒にいた友達でしょうか。一年から三年までそれこそ共に笑い共に泣き共に励ましあった友でした。ドジでのろまな亀なんて、テレビの台詞ではないですが、とにかく毎朝遅刻ぎりぎり、ドブには落ちる、何度も待ちぼうけをくわされたりもしました。でも不思議と憎めないのです。あまりに想定外の行動に拍子抜けしてしまつて怒る気も失

せてしまうのかもしれない。彼女とは、一年の夏休みに担任がサッカー部の顧問だったことで、合宿の賄いを頼まれました。安易にひきうけてしまったものの実際やつてみると、朝早くから夜九時すぎまでずっと休む間もない炊事仕事。朝履いて行った靴がパンパンにむくんだ足に入らなくなってしまうような過酷な労働でした。でもあの時も、彼女とだからおもしろおかしくやり抜けたのかもしれない。

そして腐れ縁とはすぐいもので、なんと彼女の御主人は、私の夫の幼なじみ。共に茂原から大網の住人となりました。

ほのぼのと、どことなく乙女チックな彼女と、頭で考えるよりはまず行動に走ってしまう私。卒業の頃、将来を語りあった時に、彼女は割烹着の似合うお母さんになりた

としてずっと社会性をもっていたいと話していたのに：みごとに逆転し、今では彼女はビジネス旅館を切り盛りする女将となり、私の方はごくごく平凡な専業主婦になつてしまいました。

原稿の依頼がきた時は何で私なの？別に何の取り柄がある訳でもなく、何ひとつ華々しい経歴がある訳でもないのにと乗り気ではなかったのですが、会報担当が子供の剣道の師範だったので、恐れ多くも書かせて頂きました。私の高校時代、勉強も運動もできる方ではなかったし、本当に普通の高校生でしたが、長高で出逢った友達の数や、卒業してからの長高つながりの人脈、たぶんそれだけは人並以上だと自負しております。

最後にこの紙面をお借りして五十三年卒の同窓会、切望します。



# さらば「友」よ

木村敏明(昭59卒)



今回いただいたテーマは「畏友・悪友」というものでした。「畏」や「悪」はともかく、「友」なら何か書けるだろうと最初は思ったのですが、いざ筆をとつてみると、結構これが難しいことが分かりました。高校の三年間、たくさんの人々との出会いがありました。そこから何か一つエピソードをとりあげて書けば格好がつくのではというのが当初の目論見で、実際にそういつたものを数パターン書いてみましたが、それは読み返すとそのどれもが不自然で、恥ずかしい言葉の連なりで、恥ずかしくてとても人前に出せる代物ではありませんでした。

高校時代、最もつきあいが深かったのは間違いないが陸上競技部の仲間たちです。今も何人かとは連絡をとることができ、渡米先で知り合いを紹介してもらったり(その節はお世話になりました)、娘さんが私の大学を訪ねてきたり(おめでとうございます)といった交流も続いています。でもこの仲間「友」という言葉は空々しく、ふさわしく感じられませんでした。

これは「友」という言葉ではなく、わたしの問題でしょう。日ごろ私が接している学生たちは自然に「友」という言葉を使っているからです。また、「畏友・悪友」という言葉も、わたしにはうまく使いこなせません。これらはもつと人生経験を積んだ方が過去を振り返り口にするのがふさわしい言葉です。謙遜ではなく、わたしがこの言葉を無理に使うと妙に背伸びしたいやらしい文章に、このように書いてきて

分かったのは、言葉には服装などと同じようにそれがびつたりくる年齢があるということ。今のわたしは、様々な形がある人と人の絆を「友」という言葉の中に無理に押し込み悩んだり喜んだりするほど若くは、かといって「畏友・悪友」という言葉に現実味を感じられないということでしょう。今のわたしの世界には「友」という言葉の余地がないのです。でも、悲しいとは思いません。きっといつかまたわたしの世界の中で「友」という言葉が、切実な意味をもつ日が来ると信じているからです。さらば「友」よ。また会う日まで。

オチはつきませんが、編集部の方々から依頼されたのは違ったものになつてしまいました。すみません。また、強引にオチへもつていくために最後のあたりでは嘘もついています。やはり友人がいけないというのは寂しいですね。あわせてどうぞ寛恕ください。

# 友人考

古山雅雄(平9卒)

「畏友」とは、「尊敬できる友人」とのことだ

「友人」とのことだ。そんな奴いるかなあ、と思いをめぐらせてみました。

友達の数は、それほど多くないように思います。高校を卒業して実家を出てしまったので、高

校までの友人などはほんの数人。大学時代は四年間をほぼ全て、芝居に費やしてしまつた為、部活

以外の知人友人は皆無。それでもなんとか現在親交のある人間をピックアップしてみました。

やはり悪友しかいないようです。高校時代、朝の出欠確

認が終わるや否や学校を飛び出し、遊びに出かけていた者。テスト直前で部活が休みなのをいいこ

とに、土曜日の授業の後から東京までの買い物に僕を連れまわした者。酔っ払った勢いで石畳の上に僕をバックドロップで

投げつけた者。大学の飲み会で会費を僕に押し付け、拳句の果てには「何でお前に借りた金を俺が返さなきゃいけないんだ！」とのたまう者。流石に札付きの悪まではい

ないまでも、確実に「悪友」の部類に入るのである。そして、これらの悪友

たちに共通するのは、「僕の話を見目目聞かない」という点でしょう。

たとえば、彼らに何か相談事を持ちかけたとしても、大抵の場合、「やめといたほうがいいと思

うよ」とか「いいんじゃない？」など返答は至つてシンプルなのです。こちらとしてはもつとこう、

じっくりと話を聞いてもらいたい、細かなアドバイスを頂戴したいところなのですが。

しかし、得てして彼らの助言は的を射ているのも事実なのです。彼らのそっけない態度に小さな反抗心を燃や

し、自分だけの意見で行動をしてみると、大体失敗します。くやしければ言われたことが正しかった。そう思うと同時に飛んでくる言葉は「ほら、だから言ったでしょ」

友達というのは、自分が思う以上に自分のことを見てくれています。それは親が愛情を持って我が子を見るものとは違い、冷静かつ的確な判断を生むことが多いように

思います。シンプルな返答は、僕の愚直で単細胞な性格を加味した中で出てくるものであり、実は最適な答えであるのかもしれない。

学校を出、社会人として生活を始めると、親しい友人を作ることがとても難しいことに気がつきます。仕事上尊敬できる人はいても、なかなかそれ以上の関係になれないこともしばしば。ましてや、前述のような友人ともなれば尚更です。

「畏友・悪友」が今回の小特集のテーマとのこと。私にとっては「畏友」であるようです。

# 絶えない絆

井守雄一(平13卒)



ふれた態度。最初のテストで「井守に負けたら凹むなあ」と言われた時にはムツとした。

彼女の自信を支えていたものは、血の滲むような努力と気迫であった。2時間。彼女の通学時間。それも片道である。相当な時間だ。部活の終了時間から計算すると、帰宅時間は毎日九時近く

になっていたはずだ。そんな地理的悪条件の中、Hさんは学年上位の成績を保ちつつ、インターハイにも出場した。いつの間にか私はHさんに一目置くようになった。

K駅はHさんの自宅の近くにあり、自分も地獄に佇む私。自分は地獄にいて思っていた。二

月の私大入試に全滅し、国立前期を落としたのだ。残るは国立後期。現役合格という両親からの圧力で精神はずたぼろ。自分の努力が報われないことと、来年の居場所がない不安が追い打ちをか

けていた。K駅に着くとHさんに会いたくなり、電話した。「今、K駅にいるんだ。寄っていい？」Hさんは前期入試の結果待ちだったが、私を快く迎え、励ましてくれた。「後期までまだ時間がある」とか、「大丈夫だよ、井守なら」とか。ありきたりの励ましだったかもしれない。それでも、私を支えてくれた。Hさんに言われると出来る気がする。いや、出来る！と本気で思った。

天啓かと実感したのはその数日後。後期入試。神がかつた出来で、入学してから教授に小論を褒められたほどだ。Hさんには本当に助けられた。そんな私たちも今年で二十六だ。交流は卒業後も続いている。教員と塾講師。立場は微妙に違えども、語り合うと熱い。私にとっての「畏友」、それはこれまでに関わり合ってきた全ての友である。しかし、その中でもHさんとの出会いは私に

刺激を与え続けている。

刺

千葉県警察梨葉会 (88名)	京葉梨葉会	千葉県庁梨葉会 (313名)	東京長高会 www.ye-sub.com/tck (360名)	二宮支部 (100名)	支部名
<p>会 長 宮前 健(昭42)</p> <p>鈴鹿 厚志(平2) 千葉県緑区おゆみ 野中央8-1-2-1-203 ☎090-6147-7081</p>	<p>会 長 神馬 勝子(33) 副会長 日下 忠文(32) 嶋田 建弘(33) 田辺 英夫(37) 鶴岡 正史(38) 幹事長 今関 憲章(41) 事務局長 水上 明美(44) ☎043-227-3361 会計幹事 高橋 文夫(42) 太田 和雄(45) 監 事 御園生栄一(20) 石渡 興一(30)</p>	<p>会 長 小川 雅司(昭43) 副会長 大野 建一(昭41) 酒井 廣治(昭42) 幹事長・連絡先 高橋 文夫(昭42) 長生郡長柄町長柄 山722 ☎0475-35-3201</p>	<p>会長 石川 正徳(昭31) 幹事長 石井 美行(昭31) 会 計 村上 一郎(昭43) 小守 雅子(昭55) 事務局 小倉 弘安(昭39) 莊司 和樹(平04) 他25名 事務局長・連絡先 波多野耀市(昭47) ☎03-5413-1000 Fax 03-5413-1010</p>	<p>支部長・連絡先 林 静男(昭23) 茂原市押日45 ☎0475-24-0917 副支部長 大和久靖武(昭35) 顧 問 蓮沼 貞男(昭21) 幹 事 蒔田 守正(昭21) 金坂 卯吉(昭21) 篠崎 貞夫(昭18) 金坂 宏之(昭19) 蒔田 靖二(昭31)</p>	支部役員・連絡先
<p>●定期総会 20年1月26日 ヴェルシオーネ若潮 44名 ○事業報告 ○役員改選 ○懇親会</p>	<p>平成19年度は7月 20日(金)、東天紅千葉 スカイウィンドウズ 店にて総会を行いました。 当日は昭和41年卒の菅谷君夫氏による“菅谷君夫のちっちゃなコンサート”と題した楽しいミニコンサートを堪能しました。 会場には100名を超す長生高校OBの方が集まり、プロの歌声に聞き入っておりました。すばらしい総会でした。</p>	<p>●定期総会 19年6月6日(水) 京成ホテルミラマール 68名 ○事業報告 ○役員改選 ○懇親会</p>	<p>●幹事会 19年3月16日(金) 品川プリンスホテル ●総 会 19年6月15日(金) 品川プリンスホテル 会費 男性 10,000円 女性 8,000円 ○講演会「脳ドックの功罪」日下忠文氏(日下医院院長 昭32) (18:00～18:40) ○懇親会 (18:50～20:30)</p>	<p>●総 会 19年11月13日 二宮福祉センター ○校歌斉唱 ○事業報告 ○会計及会務報告 ○講演会「現状の犯罪の推移について」安藤轟勇氏(長高同窓会会長) ●研修視察 19年10月19日 千葉市動物公園他</p>	平成19年度総会等
<p>●定期総会(詳細未定)</p>	<p>平成20年度は7月 18日(金)、昨年と同じく東天紅にて、昭和36年卒の千葉弥幸氏(永吉眼科医院長)を講師にお招きし、健康管理をテーマにお話を伺う予定です。 初参加の方、女性の方、学生の方には特典があります。多くのOBの方の参加をお待ちいたしております。</p>	<p>●定期総会 20年6月10日(火) 18:00～ 京成ホテルミラマール 16Fスカイバンケット ●会員名簿の作成 ●役員改選など</p>	<p>●総 会 20年6月13日(金) 品川プリンスホテル (18:00～20:30) 会費 男性 10,000円 女性 8,000円 ○講演会 正林真之氏(正林国際特許商標事務所所長 昭59) (18:00～) ○懇親会 (18:50～20:30) (新会員募集中) 東京在住、東京在勤、東京周辺在住の方を中心に募集中です。</p>	<p>●定期総会 20年11月初旬 二宮福祉センター 講演会「市政の現状について」 茂原市長(予定) ●研修視察 20年9月(予定) ●会員啓蒙活動 (4月～5月)</p>	平成20年度活動計画

# 割烹大和屋旅館

日本観光旅館連盟会員

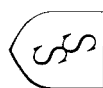
同窓生の集うところ

代表取締役

足立 俊夫(昭和46年卒)

茂原市茂原五一九

電話〇四七五―二四―二八五



## 「わかるまで、できるまで」 スクール・シリウス

塾長 田中 亨 (平成9年卒)  
講師 中山 雅雄 (平成9年卒)

0475-22-1286

〒千葉県茂原市本小町872-12  
sirius@goukaku.com

千葉梨葉会 (133名)	茂原梨葉会 (500名)	大網白里支部	千葉市役所梨葉会	支部名
会長 君島 憲治(昭41) 副会長 高地 成允(昭41) 林 峯子(昭41) 小野 康雄(昭41) 鈴木 幸正(昭41) 石川 純雄(昭42) 君塚 渉(昭43) 鵜澤 久朗(昭43) 連絡先 鵜澤 久朗(昭43) 千葉市緑区越智町 705-332 ☎ 043-294-8699	会長 永野 仁(昭25) 副会長 保川 三郎(昭20) 村山 茂雄(昭20) 幹事長 石渡 興一(昭30) 副幹事長 深山 清志(昭30) 本吉 昭夫(昭37) 会計・事務局 白井 伸夫(昭41) ☎ 0475-22-3762 松本 雅明(昭43) 以下監事2、幹事9名	支部長 木島 肇(昭29) 副支部長 四之宮由己(昭29) 副支部長 江澤 清(昭32) 副支部長 今井登志男(昭42) 会計 足立 成一(昭42) 会計 今井 洋一(昭53) 事務局・連絡先 今井 敏夫(昭35) ☎ 0475-72-0173	会長 片岡 幸雄(昭42) 副会長 古内 博道(昭43) 副会長 弓削田和行(昭44) 幹事長・連絡先 斉藤 和(昭43) 千葉市中央区南町 3-16-16-308 ☎ 043-265-1396	支部役員・連絡先
19年9月7日(金) 18:30～ センシティータワー 海燕亭 ○役員改選 ○懇親会 例年、懇親会では退職された先生方や現職の先生方が教育課題や悩みの相談という形で話が盛り上がっています。	19年度総会は6月16日(土)に大和屋旅館で、安藤同窓会長、遠藤校長並びに田中・横堀両県議及び木島・石田両同窓会副会長のご臨席を頂き開催。出席者37名。事業・決算報告。役員一部改選可決終了。 懇親会では昨年同様、単位制高校で母校愛は育つのか?同窓会の将来は?の声が頻り。120周年記念事業の話題で盛り上がりの中閉会。	19年度の総会は町内のエンジ荘で10月27日に行いました。来賓は、遠藤眞澄校長、山田正信副会長、永野仁茂原梨葉会々長、篠崎文彦事務局長の4名の方です。講師が都合つかないので、支部長にお願いして、人の生き方について少し話をしていただき、懇親会に入りました。新しい参加者にも来ていただき、楽しい懇親会でした。	●総会 19年6月1日 千葉市文化交流プラザ 66名参加 ●新年会 20年1月30日 千葉市文化交流プラザ 63名参加	平成19年度総会等
総会予定日 未定 本会は会員相互の親睦と研修を図ることを目的としています。会員資格は千葉市内の教育機関に勤務、又は勤務した教職員です。現在は公立小中学校の先生方が多いのですが、更に教育関係機関の多くの方々の参加を期待しています。	茂原梨葉会の活性化が母校隆昌・発展の根幹。総会等の活動に女性会員や若手卒業生のより積極的な参加を大いに期待してやみません。 ●総会 6月14日(土) 午後3時大和屋旅館 ●野球県大応援7月 茂原梨葉会寄贈の横断幕が集合の目印 ●長高同窓会総会 8月2日(土)午後3時 大和屋旅館 ●他支部総会出席	19年度の総会は講師が頼めなかったので、今年は早めに企画して連絡したいと考えております。 名簿もできあがりそうなので、早めに行動を開始し、できるならば10月中に開催の予定です。 日程についても他の行事をよく調べて計画したいと思いますので、会員のご協力をいただき、盛大にしたいものです。	今後、総会で決定する。	平成20年度活動計画

# 学校だより 全日制

前教頭 小関英司(昭48卒)



同窓生の皆様方には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

本校は昨年、創立百二十年を迎え、今年は数々の記念事業を計画し、十一月には記念式典も予定しています。皆様方には、この周年行事に対し、温かい御理解と募金の御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本校は文武両道を合言葉に、特色ある教育活動を推進しておりますが、平成十九年度の成果の一端を御紹介いたします。

## 一 進路状況

昨年度、進学指導重点校一期生が、大きく進学実績を伸ばし、本校の進学に対する様々な仕掛け(習熟度別授業、進学課外授業一千時間以上等)が実を結んだ形となりま

予選、新は県新人大会。団は団体戦、個は個人戦

陸上競技部 総計男五千米競歩・井口第9位

ソフトテニス部 総計男団ベスト32 女団ベスト16

剣道部 総計男団ベスト32 女個・日野ベスト16

卓球部 総計男団ベスト8 女個・深山ベスト32

バスケ部 総計男団ベスト32 女個・海保ベスト32

フリースタイルイミング部 総計男ベスト32 新男ベスト32

テニス同好会 総計女団ベスト32 総計女団ベスト32

美術部 全国高等学校総合文化祭 作品出品・大沢(千葉県代表)

囲碁同好会 全国高等学校総合文化祭 出場千葉県代表チーム主将・今関

○美術部 全国高等学校総合文化祭 作品出品・大沢(千葉県代表)

○囲碁同好会 全国高等学校総合文化祭 出場千葉県代表チーム主将・今関

○生物部 日本学生科学賞千葉県審査最優秀賞

○演劇部 千葉県中央発表会・最優秀賞、県知事賞

○書道部 千葉県小中高席書大会・千葉県知事賞・森吉

○三人事異動(敬称略) 平成十九年度末の人事異動は次のとおりです。

▼退職された先生(在職) 遠藤眞澄校長(3年)

▼転入された先生(前任) 菊池将好・理科(7年)

▼転入された先生(前任) 高橋美知子・保健体育

森 章・美術(11年)

高梨むつみ・養護(1年)

○家庭(1年) 平山直人(白里高) 国語

▼転出された先生 小関英司・教頭

田山正人・教頭

土屋和由喜・国語

野村昌富・国語

小山雄一郎・国語

関 剛史・社会

藤平近義・数学

河野安勝・理科

稲葉秀文・保健体育

阿部昌史・保健体育

久保木里美・英語

市原琴恵・工芸(臨任)

古市栄子・主査

石川和之(生浜高) 校長

渡邊 隆(勝浦若潮高) 教頭

長狭高

大網高

一宮商業高

市原高

茂原高

鶴舞桜が丘・岬高

鈴木均(安房拓心高) 社会

加納晴雄(勝浦若潮高) 数学

竹下智隆(大多喜高) 理科

清田茂夫(山武農業高) 理科

渡邊正春(一宮商業高) 保健体育

斎藤洋子(一宮商業高) 保健体育

稗田昭子(土気高) 工芸

石井 豪(県立千葉高) 英語

吉野正信(市原緑高) 英語

藤井恵美子(千葉女子高) 養護

佐藤和也(新規採用) 保健体育

吉野純子(鶴舞桜が丘高) 美術

君津商業高

町田修悟(県立船橋高) 国語

高山あけみ(茂原高) 家庭

渡邊 隆(勝浦若潮高) 教頭

石川和之(生浜高) 校長

渡邊 隆(勝浦若潮高) 教頭

武田美枝子・非常勤講師

森 章・美術(11年)

高梨むつみ・養護(1年)

武田美枝子・非常勤講師





# 囲碁同好会

顧問 渡邊 英雄

有段者の二年今関航太君、一年八幡俊彦君を中心に、七名で化学講義室にて活動している。特に、初心者の一年生五名は解説書を片手に石を並べるなど意欲的に学び、棋力の向上が著しい。

八月一・二日、第三十回全国高等学校総合文化祭が雲市で開催され、本校から千葉県チーム(男子二名、女子一名)の主将として今関航太君が参加した。プロ棋士の立ち会いのもと、熱戦が展開された。

優勝・福岡  
準優勝・東京  
三位・長野  
十一位・千葉

千葉1対2長野、千葉2対1和歌山、千葉2対1栃木、千葉3対0北海道、千葉3対0熊本、千葉1対2兵庫

十一月二十四・二十五日、第二十三回千葉県高等学校囲碁秋季大会が県教育会館にて開催され

た。団体戦男子の部で優勝し、関東大会へ駒を進めることができた。

優勝・長生4勝0敗  
今関航太4勝0敗  
八幡俊彦3勝1敗  
吉本昂平3勝1敗

準優勝・千葉敬愛  
三位・八千代松陰  
個人戦では、今関航太君が3勝1敗で準優勝し、関東大会への出場権を得た。八幡俊彦君は2勝2敗で七位。

同時に段級位認定試験が行われた。  
吉本昂平 5級  
河野裕介 5級  
牧野直人 5級  
藤平佑斗 5級  
大塚優介 4級

一月二十六・二十七日、第二十三回関東地区高等学校囲碁選手権大会が前橋市で開催され、千葉県代表として今関航太君(団体・個人)、八幡俊彦君(団体)、吉本昂平君(団体)君が参加し、団体戦五位の成績を修めた。

優勝・駿台甲府



二位・筑波大付属駒場  
三位・麻布  
四位・県立宇都宮  
五位・長生

長生3対0佐野日大、長生0対3筑波大付属駒場、長生2対1茨城県立竹園、長生3対0埼玉県立浦和

個人戦の今関航太君は、2勝2敗で十二位。  
今関〇〇×塩家(群馬)  
今関〇〇×鈴木(栃木)  
今関〇〇×岩崎(埼玉)  
今関〇〇×小松(群馬)

一、二年生が会員なので、来年度も関東、全国大会をめざしたい。  
囲碁は思考力、バランス感覚を養うのに最適である。ぜひ、多くの生徒に覚えてもらいたい。大会では女子の部もあるの

で、入会を希望する。

# 長高剣道部の近況について

顧問 田中 富雄(昭59卒)

現在ある長生高校剣道部としての歴史は、戦後の「剣道禁止」が解けたことを機に始まりまし

た。昭和二十九年三月卒業の先輩を筆頭に、平成二十年三月の卒業生を含めて、四百六十四名の卒業生を輩出してきたことになりす。平成十四年には、剣道部としての五十周年を記念して、記念式典や記念大会を開催することができました。剣道部の卒業生で組織する「梨葉剣友会」は、毎年総会や懇親会を開きながら、会員同士の親睦を図ると共に、現役部員の後援会的な活動も行っており、歴代の顧問や現役部員にとつては、なくてはならない存在です。

さて、現在の剣道部の活動ですが、平成二十年三月現在で(一、二年生のみ)、男子十二名・女子七名で活動しています。顧問は、富田浩明(昭和五十七年卒・数学)と私田中富雄(昭和五十九

年卒・保健体育)。

年間の主だった行事としては、まず五月の関東大会予選・六月の県総体・十一月の新人戦といった公式戦三大会への参加。公式戦以外にも各種大会・錬成大会等へも参加してきます。また夏と春の休業中には校内強化合宿、一月には寒稽古も行っています。合宿や寒稽古になると、梨葉剣友会の先輩方にも参加を頂き、部員達にとつては、厳しいながらも充実した稽古ができる良い機会となつていきます。

剣道部のここ数年間の大会成績ですが、県大会でのベスト八以上は、男子団体戦三回(うち一回は関東大会出場)・女子団体戦二回・男子個人戦五回・女子個人戦一回という結果で、過去の実績に比べるとなかなか思うように上位進出がかなわないのが現状です。長生高校の歴史を見ると、運動部の過去の活動は輝か

しいものがありますが、剣道部に限らず、ここ数年は全国・関東といった舞台から遠のいている部が多いのが現状です。他の強豪校と比較すると、公式戦以外の対外試合や遠征等、県の上位を目指すためには回数数が少ないのではないかと指摘されることもありす。しかしながら、「進学指導重点校」という指定を受けて、伝統である「文武両道」を部員達は精一杯実践しようと、学習面においても手を抜くことなく取り組んでいます。課外や模試等で活動時間は限られながらも、全国や関東の舞台で活躍している学校は沢山あります。

我々剣道部も、全国・関東といった大きな大会に進出することを決めています。稽古を積んでいくところから、日々の練習を元気づけ、リードしていく。という気概を常にもつて、毎年挑戦を続けていきます。

そして剣道部が「長生高校の運動部を元気づけ、リードしていく。」という気概を常にもつて、毎年挑戦を続けていきます。

そして剣道部が「長生高校の運動部を元気づけ、リードしていく。」という気概を常にもつて、毎年挑戦を続けていきます。

# 平成19年度会務報告

▼平成19・4・9 平成19年度入学式 入学者三六〇名(全日制普通科二八六名・理数科四一名・定時制三三名) 安藤会長祝辞

▼4・13 平成19年度教職員歓迎会 安藤会長出席 於プラザハイアン 茂原

▼5・14 同窓会役員会常任幹事会への提出議案の策定等 役員・事務局13名出席 於応接室

▼6・1 千葉市役所梨葉会 山田副会長、遠藤校長出席 於千葉市文化交流プラザ

▼6・6 千葉県庁梨葉会 安藤会長、石田副会長、遠藤校長出席 於京成ホテルミラマール

▼6・12 同窓会常任幹事会 同窓会総会への提出議案の策定等 出席者23名 於大和屋旅館

▼6・15 東京長高会 安藤会長、木島副会長、遠藤校長出席 講演 日下医院院長 日下忠文氏(昭32卒) 於品川プリ

▼6・16 茂原梨葉会 安藤会長、木島・石田副会長、遠藤校長、篠崎事務局長出席 於大和屋旅館

▼6・26 第3回長生高 創立百二十周年記念事業実行委員会 会長、副会長、監査出席 記念式典実施日決定、事業確定 於応接室

▼7・20 京葉梨葉会 安藤会長、木島副会長、遠藤校長出席 講演 声楽家 菅谷君夫氏(昭41卒) 於センチテイターワー

▼8・4 平成19年度同窓会総会 講演「観光立国日本、観光立県千葉」 帝京大学経済学部教授 石川正徳氏(昭31卒) 出席者63名 於大和屋旅館

▼10・26 第4回長生高 創立百二十周年記念事業実行委員会 会長、副会長、監査出席 記念式典・行事方針決定 於応接室

▼10・27 大網白里支部 総会 山田副会長、遠藤

会長、篠崎事務局長出席 講演 同窓会副会長 木島肇氏(昭29卒) 於大網白里町エンヂ荘

▼11・13 二宮支部総会 安藤会長、遠藤校長、篠崎事務局長出席 講演 蓮沼貞男氏(昭21卒) 於ひかり食堂

▼12・6 臨時同窓会常任幹事会 百二十周年記念事業予算案変更、募金期間決定 出席者24名 於大和屋旅館

▼1・26 千葉県警察梨葉会 安藤会長、小関敬頭出席 於ヴェルシオーネ若潮

▼1・29 同窓会期別幹事宛 募金推進の依頼文 発送

▼2・1 長生高校創立百二十周年記念事業募金 趣意書発送

▼2・22 第5回長生高 創立百二十周年記念事業実行委員会 会長、副会長、監査出席 記念式典の細案・行事方針決定 於応接室

▼3・7 平成19年度卒業証書授与式(全日制普通科二八六名・理数科三九名・定時制二二名) 安藤会長祝辞、中村参与、木島・石田副会長出席

画・予算等を審議し、さらに創立百二十周年記念事業計画(施設整備・記念行事・記念誌発行)及び予算案について審議し、出席者の同意を得て原案が承認されました。

議案審議後、講演に移りました。講師は昭和31年卒石川正徳氏で、「観光立国日本、観光立県千葉」という演題でお話をいただきました。石川氏は62年株式会社プリンスホテル(旧コクド)に入社、赤坂・六本木・幕張プリンスホテルの総支配人を務め、05年現職の帝京大学経済学部教授に就任したそうです。

長高時代、国語の高木先生に「長柄の山猿」と呼ばれていたことや、大時代小淵元総理と旅行に行ったときの逸話から始まり、ホスピタリティこそ21世紀を生きる理念であることを、その重要性を事例を交えて分かりやすく語られ、参加者同聞き入りました。ちょうどNHK朝のドラマ「どんど晴れ」の「おもてなしの心」を代々受け

継いでいくヒロイン夏美の姿を思い浮かべながらの講演会でありました。その後、懇親会に移りました。大いに語り合い、親睦を深め、6時過ぎに来年度の再会を期して散会いたしました。

## 平成20年度同窓会総会

・平成20年8月2日(土)  
・午後3時  
・大和屋旅館  
茂原市茂原五一九  
Tel 0475・22・1185

## 同窓会総会報告

平成19年度の同窓会総会は8月の第一土曜日の4日に、茂原市の大和屋旅館にて、63名の出席のもとに開催されました。

総会は同窓会長の安藤様の挨拶から始まり、創立百二十周年の記念事業を皆様の協力をいただき立派なものにしたいと述べられました。

次に、遠藤校長より長生高校の現況、進学状況、

進学重点指定校としての取り組み及び定時制の状況について説明があり、最後に百二十周年記念事業への協力をお願いしたいという言葉でむすびました。

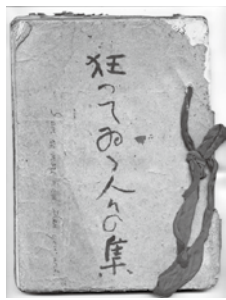
続いて来賓の田中・横堀・阿井県会議員よりご挨拶をいただいたのち、安藤会長の議長で議案の審議に入りました。会務報告、会計報告、会務計

画・予算等を審議し、さらに創立百二十周年記念事業計画(施設整備・記念行事・記念誌発行)及び予算案について審議し、出席者の同意を得て原案が承認されました。

議案審議後、講演に移りました。講師は昭和31年卒石川正徳氏で、「観光立国日本、観光立県千葉」という演題でお話をいただきました。石川氏は62年株式会社プリンスホテル(旧コクド)に入社、赤坂・六本木・幕張プリンスホテルの総支配人を務め、05年現職の帝京大学経済学部教授に就任したそうです。

長高時代、国語の高木先生に「長柄の山猿」と呼ばれていたことや、大時代小淵元総理と旅行に行ったときの逸話から始まり、ホスピタリティこそ21世紀を生きる理念であることを、その重要性を事例を交えて分かりやすく語られ、参加者同聞き入りました。ちょうどNHK朝のドラマ「どんど晴れ」の「おもてなしの心」を代々受け

継いでいくヒロイン夏美の姿を思い浮かべながらの講演会でありました。その後、懇親会に移りました。大いに語り合い、親睦を深め、6時過ぎに来年度の再会を期して散会いたしました。



# 事務局だより

## 創立百二十周年

明治21年(一八八八)私立上埴生学館(長南町今泉)の創立に始まり、明治26年私立長生高校(茂原市上茂原)設立、明治34年両校を合併し私立大成館(茂原市道表山下)が設立されました。その後、大成中と改称し、大正12年9月県立移管し、千葉県長生中学校と改称。大正14年校舎が現在地茂原市高師に落成しました。さらに、県立長生高等学校、昭和25年に県立長生第一高等学校と改称し、男女共学制実施。

昭和36年に再び県立長生高等学校と改称し、平成19年に創立百二十周年を迎えました。

### 記念事業概要

この記念すべき節目にあたり、平成18年11月に同窓会長・同副会長・同会計監査・長月会長・同副会長・長志会長・校長等で構成する千葉県立長生高等学校創立百二十周年記念事業実行委員会(安藤轟勇会長)を設置するとともに、校内に創立百二十周年記念事業準備委員会を設けて、記念事業について検討してま

### 施設設備

▼体育器具等 トレーニングマシン一式(主に運動部員のトレーニング用)、芝刈機(陸上競技場・野球場整備用)

### ▼美術品展示

▼美術品展示室 百周年蒐集美術品の展示及び収納室

### ▼冷房設備

講義室(夏の進学課外授業に使用)の4教室分及び13年間分の維持費(維持費については県教委からの指導)

### ▼校旗修理

旧制中学校旗(卒業式に現在でも使用)の改修

### ▼記念行事

▼記念式典 平成20年11月14日 於本校体育館

### ▼記念講演

記念式典後 講師 藤田浩司氏(昭和59年卒)音楽家

### ▼美術品展示・図録作成

長生高等学校収蔵作品展(平成20年11月15日~30日)場所 茂原市立美術館

### ▼及び図録(寄贈主に贈呈及び式典の記念品の作成)

▼記念誌発行

### ▼記念写真集作成

募金 寄付(三口以上)者に贈呈

いりました。

この間、5回にわたり実施され、施設整備・記念行事・記念誌発行を柱とし準備を進めています。

別紙募金趣意書・予算書にもありますが、概要は次のとおりです。

▼記念式典 平成20年11月14日 於本校体育館

▼記念講演 記念式典後 講師 藤田浩司氏(昭和59年卒)音楽家

▼美術品展示・図録作成 長生高等学校収蔵作品展(平成20年11月15日~30日)場所 茂原市立美術館

▼及び図録(寄贈主に贈呈及び式典の記念品の作成)

▼記念誌発行

▼記念写真集作成 募金 寄付(三口以上)者に贈呈

維持費(維持費については県教委からの指導)

▼校旗修理 旧制中学校旗(卒業式に現在でも使用)の改修

▼記念行事

▼記念式典 平成20年11月14日 於本校体育館

▼記念講演 記念式典後 講師 藤田浩司氏(昭和59年卒)音楽家

▼美術品展示・図録作成 長生高等学校収蔵作品展(平成20年11月15日~30日)場所 茂原市立美術館

▼及び図録(寄贈主に贈呈及び式典の記念品の作成)

▼記念誌発行

▼記念写真集作成 募金 寄付(三口以上)者に贈呈

### 募金のお願い

同窓生の皆様には、2月に募金をお願いをしたところですが、四月十五日現在で七三八名の方々から御応募をいただき、目標額の約31%(二二四一万円)に達したという状況です。つきましては、募金未応募の同窓生の皆様には、是非募金の趣旨に御賛同賜り、御協力くださいますようお願い致します。

### 【ご注意を！】

最近、百二十周年記念事業に便乗して、「千葉県立長生高等学校同窓名鑑」(人事新報社)等各会社・団体から皆様に種々の勧誘が参っているよう

ですが、それらは学校、同窓会、百二十周年記念事業実行委員会とは全く関係のないものですので、十分にご注意ください。

また、同窓会名簿の最新版は二〇〇六年版で、価格は4,500円(残部あり)です。

### 写真集の資料募集

記念写真集の資料として、在学中の思い出多いお写真をご紹介ください。カラー、白黒の別は問いません。簡単なコメントも添えてください。写真はコピーしてお返しします。

### ▼「記念写真集」

「長生高校収蔵作品図録」を同窓会でストックする予定ですのでご希望の方は次号16号で御案内致します。

▼ご不明な点、お問い合わせ等がありましたら、長生高校内同窓会事務局

TEL 0475-22-3378までお願い申し上げます。

なお、ホームページは <http://www.chiba-ed.jp/choseih/ya>

## 平成19年度 同窓会会計報告(案) 平成20年3月31日現在

\* 8月2日の総会を経て承認されますので(案)としました。

### 1. 一般会計

収入の部 (単位:円)

項目	金額	説明
入会金	1,047,000	全日制 327×3,000 定時制 22×3,000
繰越金	130,000	平成17年度末一般会計残
利息	1,089	一般会計預金利息
雑収入	46,000	売上、寄付等
合計	1,224,089	

支出の部 (単位:円)

項目	金額	説明
会議費	0	総会、常任委員会、役員会等
儀礼費	454,000	祝儀、香典、饗別、謝礼等
事務費	323,578	卒業証書ホルダー、切手、送料等
旅費	51,000	各種同窓会出席等
助成金	200,000	
予備費	0	
基本金会計	65,511	
合計	1,094,089	

### 2. 基本金会計

収入の部 (単位:円)

項目	金額	説明
繰越金	11,405,919	平成19年度当初基本金
利息	5,117	普通預金
繰入金	65,511	平成19年度末一般会計より
合計	11,476,547	

支出の部 なし

## 平成19年度 会報委員会会計報告(案) 平成20年3月31日現在

収入の部 (単位:円)

項目	金額	説明
繰越金	7,401,472	
広告	29,780	3件
賛助金	3,504,960	976件
利息	5,185	
合計	10,941,397	

支出の部 (単位:円)

項目	金額	説明
発行費	3,065,077	会報14号 20,000部印刷 郵送費等
合計	3,065,077	
差引残高	7,876,320	

http://www.chiba-ed.jp/choseih/ya

平成20年度 千葉県立長生高等学校同窓会役員名簿 (案)

○印  
新役員・幹事

役名	氏名	卒年	役名	氏名	卒年	役名	氏名	卒年	役名	氏名	卒年
顧問	石野 恒昭	昭20	期別幹事	清田 光彦	11	期別幹事	糸井 一郎	48	期別幹事	小沢 正一	41
参与	大森 敏夫	9		渡辺 十郎	12		小高 康一	49		渡辺 秀幸	42
	加藤 徹夫	19		志鎌三喜男	12		杉原 悦夫	49		鈴木 武	43
	中村 善一郎	20		緑川 正吉	14		長谷川 拓人	50		岩崎 勇	43
	吉田 昌一	26		斎藤 弘尚	15		小守 博之	51		宮崎 繁子	43
	安藤 轟勇	31		風戸 秀雄	16		大塚 力	52		内山登志雄	44
会長	安藤 轟勇	31		木島 敏司	17		森 武	53		村上 義則	45
副会長	木島 肇	29		島崎 清	17		佐々木敬治	54		石塚 義男	46
	山田 正信	30		酒井 豊	18		宮原 浩	55		木村 博	47
	石田 隆志	38		中関 邦夫	18		篠原 弘基	56		藍 正興	48
	林 正彦	38		武田 一郎	19		宇野 公男	57		伊藤 伸	49
	○時田 正樹	校長 45		八木 敏次	19		山本 利昭	58		田辺 正男	50
監査	今井 敏夫	35		鈴木 昭三	20		石田 和義	59		白鳥 隆俊	51
	白井 伸夫	41		三橋 登	20		鶴谷 一成	60		武田 敏	52
常任幹事	麻生 清	11		村山 茂雄	20		竹内 勝己	61		吉田 孝幸	53
	今井 秀夫	16		岩瀬 康信	20		鳩川 政旦	62		松崎 芳治	54
	関谷 嘉一	19		蓮沼 貞男	21		後藤 俊樹	63		野老 一輝	55
	江沢 仁	20		木村 一	21		平野 孝幸	63		山崎 浩一	56
	蓮沼 貞男	21		久我 隆二	23		惣慶 嘉平	元		小高 雅如	57
	内山寿一郎	24		鶴沢 道彦	23		酒井安芸子	3		清水 信一	58
	芝崎 浩	26		内山寿一郎	24		永棟 圭介	3		河野 宏邦	59
	松崎 義雄	29		今関 嘉員	24		東間 佳子	5		小関 正年	60
	杉田 忠聰	30		渡邊 勝美	25		梶原 一朗	6		佐貫田利一	61
	青柳 征三	37		芝崎 浩	26		奥貫 香苗	6		片岡 修	62
	市原 剛	38		吉田 昌一	26		鈴木 絢子	9		横内 忠彦	63
	松本 哲也	40		田村 龍嗣	27		平尾いずみ	11		高丸 篤樹	平元
	安川 英志	42		篠田 哲彦	27		鈴木 祥	12		宇野沢 武	2
	松本 雅明	43		酒卷 正臣	27		北田 夏子	12		熊谷 政美	3
	篠崎 文彦	47		正林 四郎	28		小倉 智史	13		伊藤 和明	4
	岡田 大作	平 3		青木 宗明	28		鈴木 拓磨	13		高貫 利紀	5
	《定時制・普》			小倉 睦夫	29		石井 靖子	14		高橋 都及	6
	内山正七郎	40		富田 夏子	29		河野 陽子	14		麻生 和男	7
	川嶋 静男	41		秋元 諠礼	30		中村 江里	15		東 敏光	8
	御園生和夫	56		湯浅 郁夫	30		府川真由美	16		板倉 和久	9
	《支部代表》			鶴澤 正男	31		鶴澤 沙織	17		村杉 達雄	10
	二宮 林 静男	23		福崎 英夫	31		畠山 佑美	17		鬼島 幸男	11
	東京長高会 金子 仁	27		江沢 清	32		斎藤 裕輔	18		松本 孝徳	12
	東京長高会 石川 正徳	31		鶴岡 英樹	32		丹羽 佑佳	18		飯島 秀和	13
	県庁 小川 雅司	43		三宅 信夫	33		二瓶 玲奈	19		萩野谷光春	14
	京葉 神馬 勝子	33		吉田 健一	33		齊藤 純一	19		石井のぞみ	16
	千葉市役所 神代 和幸	40		佐瀬 智子	34		○松崎 旭泰	20		根本 慎也	17
	大網白里 木島 肇	29		鎗田 謙二	34		○齊藤久美子	20		古山 直樹	18
	茂原 永野 仁	25		小高 五一	35		《定時制・普》			森田 智	19
				深谷 敏行	35		佐藤 甫	29		○野口 隼人	20
				鈴木 勝博	36		深山 清志	30		《定時制・商》	
				宮内 洋治	36		鈴木 松寿	30		坪井 義彦	41
				金坂 瑞穂	37		深山 義昭	31		天野 光洋	42
				鐵 和子	37		高橋 清	33		宮崎 恒雄	43
				河野 健一	38		吉野てるみ	33		坂本 勇司	44
			今関安之丞	38		秦 正行	34		石渡 俊明	44	
			竹本 正明	39		秋葉 岑生	34		大塚 稔	45	
			植松 憲一	41		醍醐 信夫	35		高橋 志徳	46	
			土屋 善裕	41		飛留間 忠	35		神宮 優美	47	
			莊司 文雄	42		小高 きみ	35		山中 一宏	48	
			平野與志子	42		貝塚 嘉軼	36		仲佐 羊一	49	
			清田 洋子	43		片岡 義晴	39		万崎 晃	50	
			藤平 正紀	43		河野 宏	37		渡辺 芳治	51	
			菊池 通雅	44		中村 勲	38				
			吉野 弘一	45		中村 孝子	38				
			岩崎 恒雄	47		野島南海男	39				
期別幹事	《全日制》										
	宮崎 誠一	3									
	中村 正臣	4									
	市川 利雄	10									

- 平成20年度の役員は8月2日の総会において選出・承認等されますが、20年3月卒業の期別幹事及び年度末の職員の異動については既定事項ですので20年度の役員として掲載いたします。
- 期別幹事につきましては原則として男女各1名です。期別幹事の継続に不都合が生じた場合は期別会等でご相談の上、次期幹事を選出し、事務局までお知らせください。

平成19年度同窓会報賛助金協力者ご芳名

紙面の都合で5口以上の賛助金をお寄せくださいました方のお名前を掲載いたします。ご協力くださいました皆様へ感謝申し上げます。

Table with 4 columns of names and amounts, organized by year (昭20 to 昭35). Includes names like 石野 恒昭, 竹本 三千男, 田中 昭一, etc.

訃報

謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

平成19年度中にご家族、知人よりご連絡いただきました方々の卒年・お名前・ご逝去年月日をお知らせいたします。

Table of obituaries listing names, birth/death dates, and family members. Columns include 卒年 (Year of Death), 氏名 (Name), and 逝去年月日 (Date of Death).

訃報欄は事務局で確認し得たものを掲載いたします。事務局まで直接ご連絡くださいますようお願いいたします。

平成20年度入試 大学別合格者数等一覧

平成20年4月1日現在

Main table showing university entrance exam results. It is divided into sections for 国立大学 (National Universities), 私立大学 (Private Universities), 大学校 (University Schools), 国立短期大学 (National Short-term Universities), 私立短期大学 (Private Short-term Universities), 各種・専門学校進学 (Various/Vocational School Advancement), 就職 (Employment), 平成19年度合格者数 (Number of合格者 in Heisei 19), and 過去5年間の大学合格者数 (Number of合格者 in the Past 5 Years).

